

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H26.8.31現在)

	8月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	4件	20件	1人	11人
平成25年度(昨年度)	4件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

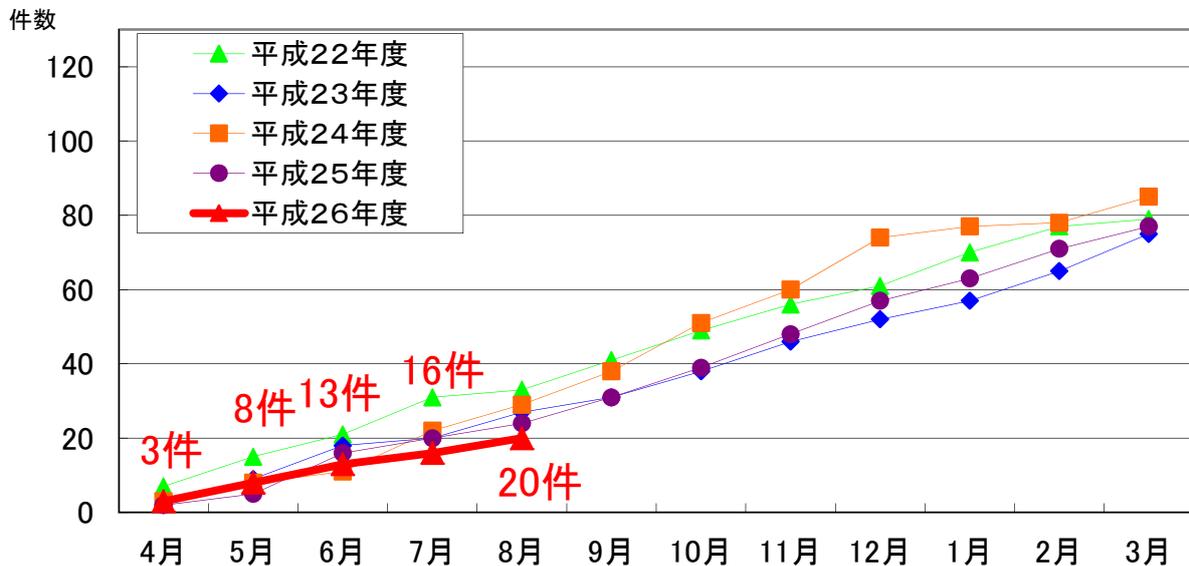
注2) 「8月発生件数」は、8/1～8/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数

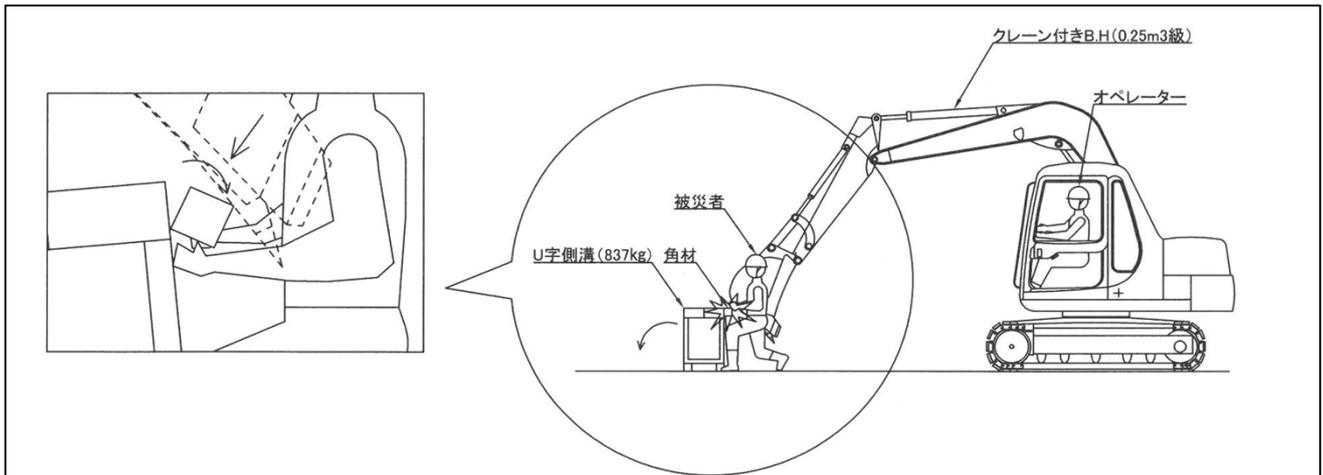


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)							

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

発生日時	平成 26 年 8 月 4 日 (月) 11 時 40 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	51	作業員	右第三指・四指打撲挫創、右第三指裂創(全治2週間)
事故概要	U字側溝をバックホウのバケットで倒そうとした際、側溝を押さえていた作業員が、U字側溝と角材の間に右手指を挟み、負傷したもの。			
	労働災害—その他労働災害			

事故発生状況



・作業員がU字側溝を現地の寸法に合わせるため、エンジンカッターで切断作業するために、U字側溝の側面を切断しやすいようにバックホウのバケットで倒そうとしたところ、U字側溝と角材の間に右手の中指を挟み負傷した。

【事故発生原因】

・切断作業に関する作業手順書が定められていなかった。
など

【事故防止のポイント】

・現地にあった作業手順書を作成し、周知徹底する。作業手順の追加、変更が必要となった場合は、作業手順書の変更を行い、周知徹底する。
など

発生日時	平成 26 年 8 月 18 日 (月) 14 時 0 分			
工事情報	技術事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	車両窓ガラス損傷
事故概要	肩掛け式草刈り機で除草作業を行っていた際、飛び石が発生し、付近を走行していた車両のリアガラスを損傷させたもの。			
	公衆損害—その他公衆損害			

事故発生状況



・除草及び清掃確認時、L型街渠及び舗装の中に刈り残しがあったため、空いていたナイロンカッター草刈り機で手直しをしようと作業を行ったところ、飛び石が発生し、付近を走行していた車両の右リアクォータガラスを破損、塗装が1箇所(1~2mm)欠損した。

・作業者の後方より車両がゆっくりと近づいて来たことに気付かず作業を停止できず、また、数分の作業だという認識で、飛び石防護措置を実施していなかった。

【事故発生原因】

・飛び石防護措置を実施せずに作業を行った。
など

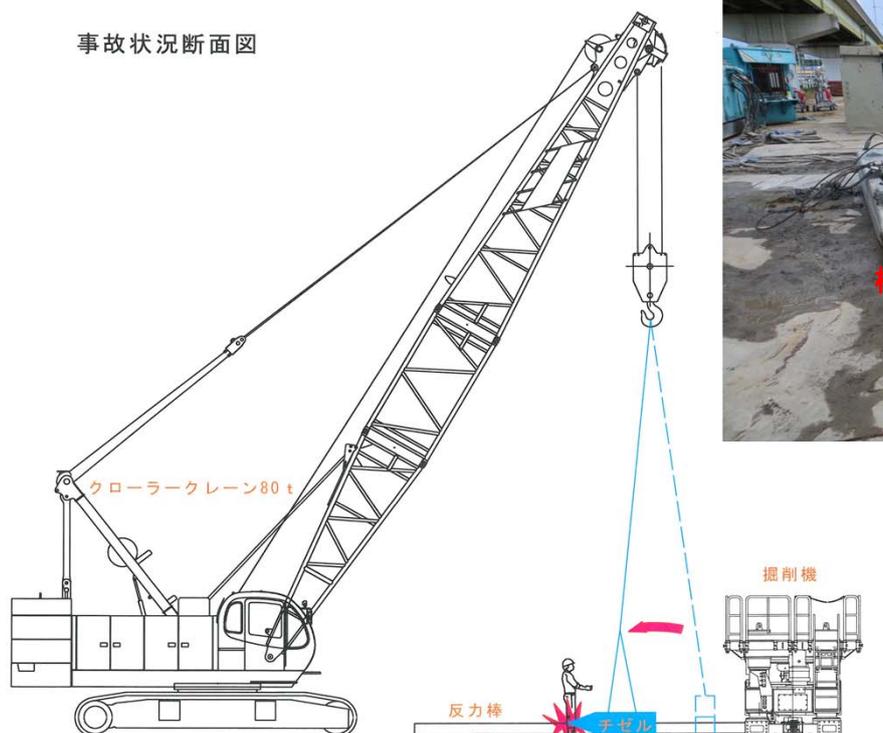
【事故防止のポイント】

・除草作業を行う際は、飛び石防護措置(ネットなど)を必ず実施する。
など

発生日時	平成 26 年 8 月 23 日 (土) 10 時 13 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	44	杭工	左脛骨骨幹部開放骨折、左腓骨近位端骨折(全治3ヶ月)
事故概要	掘削補助用楔を移動しようとクレーンで吊り上げたところ、吊り荷が回転し振れたため、被災者の左足が吊り荷と反力棒とに挟まれ、負傷したもの。			
	労働災害—その他労働災害			

事故発生状況

事故状況断面図



・場所打ち杭(オールケーシング)の掘削完了後、次工程移行準備作業中にチゼル(掘削用楔)を片付けるために玉掛けし、地切りを行ったところ、吊り荷に振れが
おこり、作業員が吊り荷と反力棒の間に左足を挟まれ被災した。

・チゼルが水平に置かれておらず、重心位置で吊り込む事が出来ず、振れがお
こった。

【事故発生原因】

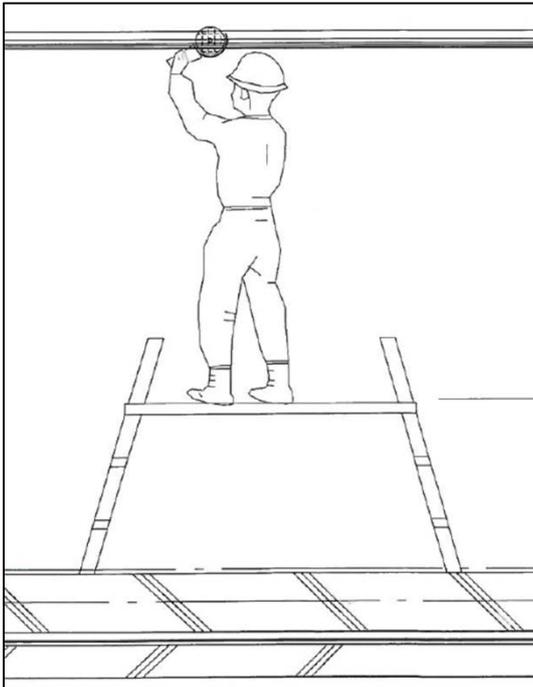
・地切り時に安全な場所へ退避して
いなかった
など

【事故防止のポイント】

・地切り時は安全な場所で荷の安定を
確認する
・介錯ロープを使用する
など

発生日時	平成 26 年 8 月 29 日 (金) 13 時 50 分			
工事情報	営繕系事務所 建築工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	28	作業員	
事故概要	建築工事で作業員がディスクグラインダーで材料の切断作業を行っていたところ、グラインダーの刃が割れて、その一部が被災者の腹部に刺さり負傷したもの。			
	労働災害一部材の加工作業等により自らを負傷			

事故発生状況



- ・被災者は軽量鉄骨天上下地の開口補強作業に従事していた。
- ・ディスクグラインダーを使用して下地材の切断作業を行っていたところ、ディスクグラインダーに刃が割れて、その一部が被災者の腹部に刺さり、負傷した。
- ・ディスクグラインダーの刃の交換を無資格者が実施しており、グラインダーの規格と刃の規格が適合していなかった。

【事故発生原因】

- ・ディスクグラインダーの規格と刃の規格が適合していなかった。
など

【事故防止のポイント】

- ・有資格者(特別教育)による刃の交換作業、試運転の実施を徹底する
など